

環境エネルギーイノベーションコミュニティ 実践型イノベーションプログラム Issue 5

Create a New Future of E&E ～スタートアップと創る環境エネルギーの未来～

参加者募集要領

環境エネルギー分野のイノベーション創出を加速するため、CIC Tokyo及びU3イノベーションズが2021年9月に立ち上げた環境エネルギーイノベーションコミュニティ(以下「E&Eコミュニティ」という。)の実践型イノベーションプログラムの第二期2つ目(通算5つ目)のプログラムに取り組む参加者(大企業や中小企業、スタートアップ、研究者、自治体等)を募集します。

この実践型イノベーションプログラムは、特定の社会課題の解決に向けてスタートアップと大企業の協業機会を生み出し、さらには自治体、中央省庁、投資家、研究機関などのステークホルダーとの連携を加速するコミュニティ型のプログラムです。具体的には、E&Eコミュニティに参画する大企業やスタートアップのCore Memberが取り組みたい課題やその解決のために求める技術領域などを提示し、課題解決への貢献が期待されるスタートアップや企業、研究者を募集します。選ばれた参加者はCore Memberとの協業可能性を探索し、Core Memberが提供する事業フィールドやアセット、サービスを活用、さらに自治体・中央省庁などとも連携しながら、社会実装に向けた実践の場を得ることができます。

この社会課題解決型のイノベーションプログラムは、一定期間、掲げたテーマ(イシュー)に取り組み、每期(1年間)ごとに2または3イシューの実施を予定しています。

(1) E&Eコミュニティ実践型イノベーションプログラム第5弾！(Issue 5)

Create a New Future of E&E

～スタートアップと創る環境エネルギーの未来～

(2) テーマオーナー

「Issue 5: Create a New Future of E&E～スタートアップと創る環境エネルギーの未来～」では、以下のStartup Core Member 4社がそれぞれのテーマを掲げ、大企業やスタートアップ、研究者等との協業に取り組めます。



- 株式会社GOYOH(<https://www.goyoh.jp/easygo/>)
 - EaSyGoは、ビルオーナーとテナントが連携し不動産が起点となるCO2排出量やESG要素を可視化し削減や改善するためのサービスを提供しています。不動産特

有のESGや経済性の観点から、脱炭素化、テナント満足度の向上、行動変容、不動産価値の最適化、社会的インパクトなどを実現します。

- 株式会社フィルズ (<https://www.go.fills.app/>)
 - 地球のために、未来のために。今こそ一人ひとりがアクションを起こす時。使い捨て容器は、もういらぬ。これからは「中身だけ」を買う時代。それはパッケージフリー社会の実現に向けて、生活者とお店を繋ぐ新たなプラットフォーム。
- 株式会社シェアリングエネルギー (<https://sharing-energy.co.jp/>)
 - 「分散電源の創出により、エネルギーシステムを変革する」をミッションに掲げ、無料で太陽光発電を設置して電気代をおトクにするサービス「シェアでんき」をはじめとする分散電源の提供を展開しています。多額の初期投資が必要だった太陽光発電システムを初期費用無料で提供することで、需要家の電気代をおトクにするというイノベーションを実現しました。さらに再生可能エネルギーの自家消費・地産地消を促進することで、持続可能な社会の実現に寄与してまいります。
- Nature株式会社 (<https://nature.global/>)
 - Natureは「自然との共生をドライブする」をミッションに、IoTプロダクトを活用し、再生可能エネルギーへのシフトの実現を目指しています。2017年にスマートリモコン「Nature Remo」を発売、日本のスマートホーム市場を牽引しています。

(3) 各スタートアップが牽引するテーマ:

株式会社GOYOH



"サステナブルリゾートテック ～リゾートでの脱炭素・生物多様性向上～"

<具体的な内容>

北海道・ニセコのラグジュアリーリゾートにて、近年の急速な開発やオーバーツーリズムによるさまざまな社会課題を解決するため、リゾート施設・地域コミュニティ・宿泊者が抱える課題（エコなエネルギー利用、水利用、移動や消費におけるCO2排出、その他の宿泊者向けアクティビティにおけるサステナビリティ）を協働して解決し、日本におけるサステナブルなラグジュアリーリゾートのモデルを構築し拡大したい。

<コラボレーター像>

キーワード：スノーリゾート、インバウンド富裕層、エネルギー、資源循環、移動・交通サービス、旅行者向けサービス
 (例) GOYOHとGOYOHのパートナー企業の運営する北海道・ニセコのラグジュアリーリゾートにて、協働でサービス提供を行い、社会的インパクトを計測・改善する。

<コラボレーションイメージ>

- ・リゾート宿泊者への施設内外でのエコな移動方法やサステナブルがコンセプトとなるサービスの提供（食、美容、健康、アート、地域交流など）
- ・リゾート施設での廃棄物の削減、水の循環利用、省エネ、再エネ利用を促進するサービス・設備の提供



<自社の持つリソースやテクノロジー>

不動産ESGプラットフォーム「EaSyGo」と、連携先の北海道・ニセコのラグジュアリーリゾート施設

株式会社フィルズ



"GX推進に向けた人材プログラム"

<具体的な内容>

カーボンニュートラル、グリーン成長など、企業が環境問題に取り組む必要性が高まる昨今、いわゆるGX（グリーントランスフォーメーション）人材のニーズが高いといわれています。一方で、環境・エネルギー・ESG・SDGs関連のトレンドやトピック、あるいは、その分野に企業として必要な人材には何が重要という点については曖昧なまま事業を進めている企業や担当者の方は多いものです。本プログラムでは、GXしたい個人の方だけではなく、GX人材育成について課題をもつ企業様とワークショップ形式のプログラムを実施し、そもそもグリーンな成長戦略とはなんなのかなど、国内外の事例も検証しながら議論を深めて新しい人材育成の解を模索します。

<コラボレーター像>

キーワード：カーボンニュートラル、グリーン成長戦略、ウェルビーイング、地域循環共生圏、資源循環
 (例) 大手技術系企業、サービス業で、チーム（有志、企業単位）として関わることができるの方々やGXというキーワードについて課題を持っていて解決の方法を模索。

<コラボレーションイメージ>

グリーンタレントに特化した人材エージェントやGX人材を必要とする企業、大学（e.g. 慶應義塾大学）等の研究機関と連携したプログラムの組成し、今必要とされる人材プログラムの構築、アクティブラーニングの機会の提供を目指します。ワークショップや場づくりのコアチームとしてプログラム運営に携わっていただきます。

<自社の持つリソースやテクノロジー>

コンセプトノウハウ、研修サービス、産学とのネットワークなど



株式会社シェアリングエネルギー



Sharing Energy

"分散電源によるエネルギーシステムを活用した課題解決 ～遠隔制御による電気代高騰対策、環境価値～"

<具体的な内容>

→2023年エネミ達成のためには追加でPV導入必要。分散型電源を制御することで、責任ある電源としてのPVが効率よく進むのでは。
 →分散電源の環境価値を証書化含めて、国内のみならず海外市場も見据えて取り組むことで、再エネ賦課金のように国内からお金を集めずとも、海外からお金を集める形で脱炭素を実現できないか。
 →エネルギー価格高騰対策をしつつ、持続可能な形で日本のエネルギーシステムを作ることに向けての施策を検討できないか。

<コラボレーター像>

キーワード：ESG、SDG、太陽光、環境価値、電気代高騰、エネマネ、VPP、DR、蓄電池、EV、V2H
 (例) エネルギー提供会社（電力会社）、パネル/蓄電池等のメーカー、ソフトウェア、ESG/SDGs/環境価値のニーズがある事業者、ハウスメーカー/ビルダー、電気代高騰に悩んでいる（太陽光を導入したい）事業所や店舗を保有の企業

<コラボレーションイメージ>

→電気の調達価格の削減、制御機器（給湯器、EV、EV充電器等）と太陽光とのセットでのサービス開発や導入
 →分散電源導入による環境価値を活用して事業活動でのGHG排出量削減を予算なしで取り組み可能
 →従業員様のご家庭や事業所、店舗へのPV導入により企業活動から排出するGHGを削減

<自社の持つリソースやテクノロジー>

シェアでんき、シェアでんきforBiz、シェアでんき 環境貢献サービス



Nature株式会社



"住宅のエネルギー可視化&ゼロエネルギー化"

<具体的な内容>

昨今は国際情勢などの影響もあり原油価格高騰などから、電気代やガス代の値上げが相次いで家計を圧迫。ただ住宅のエネルギーの無駄を減らすことで値上げの影響を最小限に抑えることは可能。そのためには、家の中のどんな家電にどのくらいエネルギーを消費しているのかを可視化して、快適性を損なわずに省エネなライフスタイルを実現すると共に、ゼロエネルギーハウスの社会実装にもつなげていく取り組みを実施したい

<コラボレーター像>

キーワード：ゼロエネルギーハウス、ZEH、エネルギー、可視化、太陽光発電、蓄電池、HEMS、V2H、EV、脱炭素、ESG
 (例) ハウスメーカー、不動産会社、エネルギーインフラ企業、自動車メーカー、住宅設備メーカー、太陽光/蓄電池/充電器メーカーなどで、戸建て住宅、マンション、エネルギーインフラ、EV、住宅設備、太陽光パネル、蓄電池、EV充電器などをお持ちの企業

<コラボレーションイメージ>

V2Hを通じたEV充電サービス連携や集合住宅やモデルハウスを実験場所とした実証実験の実施など



<自社の持つリソースやテクノロジー>

Nature Remo E (HEMS)、Nature Remo (スマートリモコン)、ユーザー数50万人、パートナー企業
 ※Nature RemoEは現在低圧対応のみとなっておりますが、今後プロジェクトの進行次第では高圧対応も検討します。

(4) Issue 5に参画する大企業Core Member

以下の7社のCore MemberがStartupテーマオーナーと共にプログラムを進めていきます。



- 株式会社INPEX
- ENEOSホールディングス株式会社
- 清水建設株式会社
- 積水化学工業株式会社
- 双日株式会社
- 東北電力株式会社
- 三菱電機株式会社

(5) 実施内容

- 各スタートアップテーマオーナーからコラボレーターへの課題・提供リソース案の提示
- 大企業やスタートアップ、研究者など参加者によるピッチ
- スタートアップとコラボレーターの協業検討
- Issue 5のプログラムを通じたコラボレーション事例紹介

(6) 応募資格

- 各スタートアップが掲げるテーマに共感し、共に課題解決に向けて進めていくためのアイデア、リソース、ソリューション、実証場所等を持っている、企業(大企業、中小企業、スタートアップをすべて含む)、研究機関、研究者、自治体等
- 「Issue 5: Create a New Future of E&E～スタートアップと創る環境エネルギーの未来～」に関心を持ち、環境エネルギーイノベーションコミュニティのStartup & Core Memberをはじめとしたメンバーとの協業を希望していること。
- 2023年7月12日(水)に開催予定のイベントにてピッチ登壇できる方(7月12日のスケジュールの確保をお願いいたします。時間は日本時間の18:00～20:00を予定しており、場所はCIC Tokyo(虎ノ門ヒルズビジネスタワー15F)です。現地での参加が困難な場合は、オンラインでの参加も可能です)。
- 実践型イノベーションプログラムへの参加にあたり、事務局(CIC Toranomom合同会社及びU3イノベーションズ合同会社)の指示に従う意思があること。
- 連絡先及び提出資料について、本コミュニティのStartup & Core Member、大企業メンバー、VCパートナーに共有され、連絡を受けることに同意すること。

(7) スケジュール

- 公募期間:2023年6月5日(月)から**2023年7月3日(月)23:59まで**
- Startup Core Memberによる課題説明:2023年6月14日(水)18:00 - 20:00
 - テーマオーナーによるリバーспitchイベント:
<https://energy-environment-reverse-pitch-5.peatix.com/view>
- 採択通知:2023年7月上旬(予定)
- 採択者によるピッチ:2023年7月12日(水)(予定)
- プログラム実施期間:2023年7月から2022年8月31日まで
- 中間成果発表会:2023年8月29日(火)(予定)

(8) 応募方法

以下の応募フォーム(Google form)よりご記入ください。(5分程度で簡単にご記入いただけます)

E&E Issue 5 Program 応募フォーム: <https://forms.gle/pXchNXQrLDrKean36>

※各自の興味のあるテーマオーナーのプログラム単体、もしくは、複数プログラムへ参画・提案することが可能です。

(9) お問い合わせ先

CIC Tokyo (名倉、藤瀬、飯田)

env-startups@cic.com

===

<環境エネルギーイノベーションコミュニティについて>

CIC TokyoとU3イノベーションズが立ち上げた環境エネルギーイノベーションコミュニティは、昨今のサステイナビリティやカーボンニュートラルへの関心の高まり、イノベーションによる社会課題解決の期待を背景として、イノベーション・エコシステムのステークホルダーが集い年間を通じて多様な活動を行うことによるスタートアップの成長やスタートアップ・大企業・研究機関・行政機関等の協業を通じたイノベーション創出を行います。

具体的には、シンポジウムやマッチングといったイベントや、個別の社会課題を設定してそれに取り組むスタートアップと大企業が協業し活動を実施する実践型イノベーションプログラム等を通じ、スタートアップ、大企業、投資家、研究機関、地方自治体、中央省庁で構成される環境エネルギー分野のイノベーションクラスターを創出します。加えて、海外に多くの拠点を持つCIC Tokyoのネットワークを活かして海外のイノベーションクラスターと連携することにより、海外の情報収集やグローバル市場を獲れる新規ビジネスの創出を行います。

★E&Eコミュニティページはこちら: https://jp.cic.com/news/announce/ee_community/

★E&E Community Impact Report YEAR 1 (E&E第一期(2021.09-2022.08)の取り組み紹介):
https://drive.google.com/drive/u/1/folders/1og0WsiOHXY3beOsE10jcwW6z_w6s1IE6

現在コミュニティメンバー(スタートアップや起業家、研究者や企業の個人会員は参加無料)と協賛企業を募集中ですので、本コミュニティのプログラムについて詳しく知りたい方は、環境エネルギーイノベーションコミュニティ運営事務局(env-startups@cic.com)までご連絡ください。

★E&Eコミュニティへの参加申込はこちら: <https://forms.gle/ZPF4YbETp5VzGzZu8>

<運営事務局について>

CIC Tokyo

CIC Tokyoは、2020年10月1日に虎ノ門ヒルズビジネスタワーの15階と16階(合計約6,000平米)にオープンした、国内最大級のイノベーションセンターであり、スタートアップ(起業間もない、急成長を目指す企業)を中心に250社以上の企業や団体が入居できる広大なワークスペースと、ビジネスの成長とグローバル展開を加速するためのコミュニティやサービスを提供します。

CIC Tokyoに入居するスタートアップ企業は、自由な雰囲気の中、オフィススペースや多彩な共用スペースが利用可能です。加えて、イノベーションコミュニティへの様々な形での参画が可能となり、エコシステム内のキープレイヤーと新たな関係性を構築することができます。また、CIC Tokyoをゲートウェイとして、グローバル拠点へのアクセスが容易になります。CIC Tokyoでは2020年10月のオープン以降2021年7月末までにスタートアップやオープンイノベーションに関係のある130件を超える様々なイベントを開催しており、多くの方が集う場所になっています。

U3イノベーションズ

U3イノベーションズは、エネルギーを中心とする社会システム領域に特化して、スタートアップと共に新たな事業創出と成長を目指す実践者集団です。私たちが実現したい新しい社会システム(Utility3.0)の担い手になると期待されるスタートアップに対して、投資やCxOの派遣などあらゆる方法を通じて、文字通り二人三脚で成長を目指します。

対象はエネルギー産業に限らず、モビリティや水、農業、住宅などと産業横断での事業創出を目指しています。既に複数のスタートアップの経営に当社メンバーが参画しており、並行してスタートアップ投資や協業に向けたジョイントベンチャー設立などの協議も進めています。

多様な価値観を包含する持続可能な未来を実現するため、エネルギー供給を超えた新しい社会システムであるUtility3.0というコンセプトを初めて世に示した、2017年出版の「2050年のエネルギー産業 Utility3.0へのゲームチェンジ」。この書籍の共著者である竹内純子、伊藤剛の2人により、U3イノベーションズは2018年に創設されました。